

第3学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 筒井 綾香

1 日 時 令和5年2月7日(火) 第6校時(14:30~15:15)

2 学年・組 第3学年2組(24名)

3 単元名 伝えたいことを、理由をあげて話そう
(教材名) 『わたしたちの学校じまん』

4 単元の目標

- ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができるようにする。
- ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるようにする。
- ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができるようにする。
- 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話すことができるようにする。
- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。
- 進んで言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し発表しようとするようにする。

5 単元の評価規準

知・技	①相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ②丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話している。((1)キ) ③考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)
思・判・表	①「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A(1)イ) ②話すこと・聞くことにおいて、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)
態	①進んで言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し発表しようとしている。

6 単元について

【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

[知識及び技能]

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
イ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。
- (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。

[思考力、判断力、表現力等]

A 話すこと・聞くこと

- (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
ウ 互いの考えをつたえるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。

【单元構想】

○「出会う」

- ・これまでの話し合いやグループ発表をした経験を振り返り、学校の自慢したいところはどこかを考えて発表することを子どもに意識づけるようにする。
- ・発表を聞いてどんな感想をもったか振り返りまで行うことを見通す。

○「追究・表現する」

- ・次のような順に、指導事項を指導する。
 - ① 自慢したいことを決める。
 - ② 自慢したい理由を考える。
 - ③ 発表に必要な資料を集める。
 - ④ 組み立てを考えて発表原稿を作る。
 - ⑤ グループで発表の仕方を確認し、練習する。
 - ⑥ 発表会を行う。

○「生かす」

- ・話し合いや発表の練習で助言し合ったことを思い出し、よかったところを伝え合う。いいなど思うところを見つけることで、これまでの発表練習や本番までの過程を意識した伝え合いの場とする。
- ・今後、他の授業や発表する場面で生かせるようにする。
- ・一年生への発表後、すべての人へ発表するため学校ホームページのアップを目指す。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
・「もっと知りたい、友だちのこと」の单元において、どんな質問をしたらよいか、どんな話の聞き方が良いのか理解することができた。 (知識及び技能)	・会話が一方的にならないようリアクションを返したり質問や感想を伝えたりすることで、さらに内容が深まることができるようにする。
・「山小屋で三日間すごすなら」の单元において、お互いの考えを認め合い、全員で意見を出し合うことはできていた。しかし出された考えを仲間分けしたり整理したりするのは十分と言えない児童もいる。(思考力・判断力・表現力等)	・意見が違って理由が同じであれば同じ仲間分けにするなど、整理の仕方を確認する。
・「はんで意見をまとめよう」の单元において、自分が選んだ本を一年生に紹介するために好きなおもしろいところを見つけ、意欲的に伝えようとする姿が見られた。 (学びに向かう力・人間性等)	・はんで意見を出し合うが、他人任せにならないように、「自分だったらどんな自慢をするか」を考えられるようにする。

4 指導計画 【指導のポイント ④手立て !配慮事項 ⑤他教科との関連 ⑥個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
1	<p>○学習の見通しをもつ。 ◆自分の学校の自慢したいところやその理由を出し合おう。</p> <p>・わたしの学校の自慢は、おはなしわくわくが毎週あること。理由は、給食時間にいろんな楽しいお話をきくことができるから。</p> <p>[学習課題] 伝えたいことを理由をあげて話し、わたしたちの学校じまんをしよう。</p> <p>○学習計画を立てる。 ◆これまでの話し合いの活動で学習したことを思い出し、「つたえたいことを理由をあげて話し、わたしたちの学校じまんをしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てよう。</p> <p>・学校の自慢したいこと。 ・組立てを考える。 ・発表原稿を書く。</p>	<p>⑥P4「三年生の国語の学びを見わたそう」を参照にする。</p> <p>④P114の「学習の進め方」を参照し、学習計画を立てるようにする。</p>	態①
2	<p>○自慢したいことをたくさんあげる。 ◆学校の自慢したいことをたくさん考えよう。</p> <p>・わたしの学校の自慢は、おはなしわくわくが毎週あること。 ・わたしの学校の自慢は、剣録という部活があること。 ・わたしの学校の自慢は、ビオトープがきれいなこと。</p>	④発表する相手や目的を確かめ、それに合った内容にするようにする。	思①
3	<p>○グループで自慢したいことを決め、理由を考える。 ◆グループで自慢したいことを決め、その理由をたくさん考えよう。</p> <p>・わたしの学校の自慢は、おはなしわくわくに決めよう。 ・毎週水曜日、給食の時間に本の読み聞かせを放送してもらえる。 ・低学年の時は休み時間にも読み聞かせをしてくれたよ。</p>	④自慢したい理由を明確にするようにする。	知③
4	<p>○一年生に自慢したい理由を3つ程度考える。 ◆自慢したい理由を出し合った中から特に伝えたいことを3つに決めよう。</p> <p>・一年生に、学校の自慢を知らせるので、わかりやすい理由がいいと思います。</p>	④自慢したいことと、その理由をよりよく伝えるための資料を準備するようにする。	思① 思①
5	<p>○発表に必要な資料を集める。 ◆発表で見せる資料を集めよう。</p> <p>・今までのおはなしわくわくの活動している様子の写真を見せるとよい。</p>	⑤ICTPowerPoint やロイロノート等に、写真などの資料を収集することも考えられる。	
6	<p>○組立てを考えて、発表原稿を作る。 ◆組立てを考えて、発表原稿を作ろう。</p> <p>・わたしが自慢したいのは、「おはなしわくわく」。「おはなしわくわく」は毎週1回。</p>	<p>④P119の「発表のれい」を参考に、「はじめ」「中」「終わり」の組立てを考えるようにする。</p> <p>④役割分担をして、発表原稿を作るようにする。</p> <p>④自分の役割を意識し、聞き手の立場になって、伝え方を工夫するようにする。</p> <p>④音声CDや指導者用デジタル教科書で話し方の例を聞いたり、二次元コードの動画を見たりして、話し方の工夫を確認するようにする。</p> <p>④話し方の工夫を意識しながら、練習するようにする。</p> <p>④発表の内容や発表のしかたについて助言</p>	思② 態①
7	<p>○グループで発表の仕方を確認し、練習をする。 ◆グループで発表の仕方を確かめ、練習しよう。</p> <p>・伝えたいことは、はっきり大きな声で。 ・原稿を見ると、早口になって伝わりにくいので、原稿を見ず、相手を見て話せるようにしよう。</p>		

	8	<p>○発表会をする。 ◆発表会をしよう。</p> <p>・はじめ・・・自慢したいものとその説明 中・・・自慢したい理由 終わり・・・自慢したいものの繰り返しとまとめ</p>	<p>し合い，気付いたことを発表原稿に書き入れるようにする。</p> <p>㊦会場の広さや聞き手，発表の内容に合わせて，声の強弱や速さ，間の取り方，言葉づかいを工夫するようにする。</p>	<p>知① 知②</p>
生かす	9	<p>○学習を振り返る。 ◆話し合いや発表の練習で助言し合ったことを思い出し，よかったところを伝え合おう。</p> <p>・自慢したいものを，初めにははっきり話していたので，話の中心が分かりやすかった。 ・一年生でも分かるようにゆっくり話していた。</p> <p>○単元における学びを振り返る。</p>	<p>㊦「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るようにする。 ㊦「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を確認するようにする。</p> <p>他総合的な学習の時間などの発表に生かすようにする。</p> <p>他一年生への発表後全ての人へ発表するため学校ホームページへのアップを目指す。</p>	<p>態①</p>

記録に残す主な評価場面（例）

- ・思① 「組立てを考えた発表原稿」【6時間目】
- ・態① 「見通しをもって，グループで練習している姿」【7時間目】
- ・知① 「言葉の抑揚や強弱などに気を付けて発表している姿」【8時間目】
- ・併せて確認（ペーパー）テストを実施し，評価資料として活用する。

*授業改善に向けては，単元における毎時間の子どもの様子やノートなどの見取りを行うことが大切です。

8 本時について (3/9)

(1) 目標

考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。【知③】

(2) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
○学習のめあてと流れを確かめる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>グループでじまんしたいことを決め、理由をたくさん考えよう。</p> </div>	
<p>◆発表する相手や理由を考える時のポイントを確認しておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年生に伝える。 ・理由をはっきりさせながらたくさん考える。 	<p>*自分なりの理由をはっきりさせながら考えることを伝える。</p>
<p>◆自慢することをグループで決め、理由を考える時にロイロノートのシンキングツールを使ってみてもいいですね。</p>	<p>◇前時までの子どもたちの考えをもとに、自慢したいことが似ている人を集めたグループ作りをしておくことにより、自慢したいことがスムーズに決まりやすくなるようにする。</p>
<p>○グループで自慢することを決めた後、シンキングツールのクラゲチャートを使って理由をたくさん出す。</p>	<p>*クラゲチャートの使い方を説明する。 *ロイロノートでも、紙と付箋でもどちらを使ってもよいことを伝える。</p>
<p>◆今できているところまで提出しましょう。紙でしたグループは写真を撮ってロイロノートで提出しましょう。</p>	<p>◇ロイロノートを活用してどんな意見や理由が出てきたのかを共有することにより、ほかの友達の見つけた言葉やそこから考えたり想像したりしたことを知ることができるようにする。</p>
<p>○使ったクラゲチャートや紙を提出する。</p>	<p>また、授業最後に提出する(紙の場合は写真を撮ってから提出する)ことで話し合いの進み具合を共有することができるようにする。【ICT活用〈図1〉】</p>
<p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>◆今日の学習を振り返りましょう。グループの中で出た、いいなと思った意見を理由をつけて書きましょう。話し合いでうまくいったことや困ったことも書いておきましょう。</p>	<p>◇書く前に友達と伝え合うことにより、自分の考えを引き出すことができるようにする。 *友達の考えを参考にして考え直したり、友達と一緒に考えたりしてもよいことを伝える。 *振り返る視点を示す。</p>

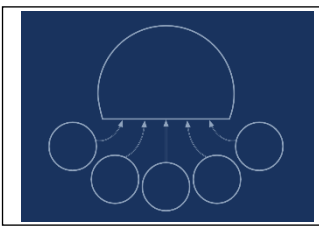
(3) 評価

【知③】	「話すこと」において、自慢したいことの原因をはっきりさせて具体的に話すことができています。(付箋・ロイロノート)
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
～だからこんな理由がいいと思う。 この意見は似ているから同じ仲間分けができるね。 ～よりも〇〇の方が伝わりやすいと思う。	

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">発表する時相手、目的のかくにん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">話し合いのポイントのかくにん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">話し合い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ふりかえり</div>	<p>ふりかえり</p> <p>① いいなと思った意見とその理由</p> <p>② 話し合いや理由を考える中でうまくいったことやこまったこと</p>	<p>○ 理由を考える時のポイント</p> <p>理由をはっきりさる。</p>	<p>○ 発表する相手</p> <p>一年生</p>	<p>めあて</p> <p>グループでじまんしたいことを決め理由をたくさん考えよう。</p>	<p>わたしたちの学校じまん</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	----------------------------	-------------------------------------------------------	--------------------

(5) ICT 活用 (図1)

<p>各班の話し合い</p> <p>タブレット</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	<p>ふりかえりやクラゲチャート</p> <p>タブレット</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ビオトープのかん理をしてきている地いきの方がいるという意見が、いいと思いました。一年生に早く知らせたいです。</div>	<p>タブレット</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></div>
<p>大型テレビ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>		
<p>「提出」されたグループごとの意見、考えやふりかえりを大型テレビに提示し、考えを共有する。</p>		